



新年おたのしみ会



1月12日(木)に、新年おたのしみ会をしました。3、4、5歳児クラスはクラスごとにリズム室での集会形式で、0、1、2歳児は各クラスで会を行いました。新たな年の訪れをみんなで喜び、今年一年が健康で良い年になるようにと願いを込めて舞う獅子舞を見ました。「十二支のはなし」のDVD視聴をして、今年の干支がうさぎであることや、自分の生まれ年の干支を知り干支に関心を持っていた子どもたちです。お正月あそびの由来を聞き、遊び方を知り各部屋でお年玉のお菓子を食べて、今年一年、元気に過ごせますようにと願いを込めてお正月あそびを楽しみました。

お正月に聞かれる「春の海」の曲が流れる中、姿勢を正して新年の挨拶「明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします」と丁寧におじぎをして挨拶をしていました。



大きな顔の獅子舞の登場に「わあー！」歓声を上げて驚いていました。

獅子舞は、厄払いや無病息災を願う意味があります。
人の頭をかむことによって、その人についた邪気を食べてくれます。

DVD「十二支のおはなし」を視聴して、どのようにして動物の順番がつけられたのか。何の動物が12番まで入っているのかなどを知りました。



「たぬきは集まる
ところに行くのが
面倒くさくて、寝
てたんや」

「ねこは、ねずみに
嘘を言われて行けな
かったんやね。」
「残念やね。」





「今年の動物の干支はうさぎです。うさぎがピョンピョン元気に跳ぶように、みんなも元気いっぱい過ごせる年にしましょうね」



自分の生まれ年の干支がわかるように、イラストを使用しながら説明しました。「僕は5月生まれやから戌年や」と言っていました。

一年間元気で過ごせますようにと願いを込めて、保育所からお年玉をもらいました。「ありがとう」とお礼の言葉を伝える年長見たちです。



クラスに戻り、お年玉を嬉しそうにしていました。

<お正月あそび>



お正月あそびには、「新たな一年が良いものになるように」といった意味や願いが込められている遊びがたくさんあります。

福笑い
「笑う門には福が来る」いっぱい笑って福を呼び込みましょう。

「先生、そっちじゃないよ」



保育士が回したコマを見て、拍手や歓声が上がっていました。

「めっちゃ回ってる」

こま回し
まっすぐと心が通ってよく回ることから、物事がうまく進むと言われていています。



「僕も、やってみたくなった」

けん玉
玉の赤色が、ご来光（初日の出）を思わせるめでたい遊びです。

「うわー！すごいな」

「初日の出ってお正月に見るやつやなあ。」



「がんばれー！」

しりずもう
小さい土俵でお尻だけを使って戦うあそびです。



子ども達の声援や笑い声がたくさん聞かれました。



獅子舞の登場に少し不安な表情を見せる子どもたちでしたが、不思議そうに獅子舞を近くで見っていました。

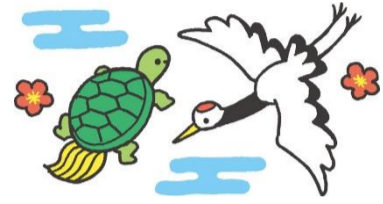


0歳児(ちゅうりっぶ組)

2023/01/12



お年玉を次々にもらいに来る子ども達でした。



間近で見る獅子舞を見てびっくり! 真剣な表情で踊っている獅子舞を見つめていました。

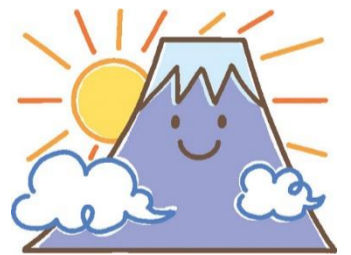
2歳児(すみれ組)



「ポンポンと続けてできたよ。」



子ども達に馴染みのある、果物、野菜、乗り物の絵柄の手作りかるた遊び。保育士が物の名前を呼ぶと勢いよくかるたを取っていました。



紙コップの中に、玉が入ると「見て、入ったよ」と喜んでいました。

「あっ、みつけた」

1歳児(たんぽぽ・つくし組)

「ここに、あった!」



「やりたい」



2023/01/12